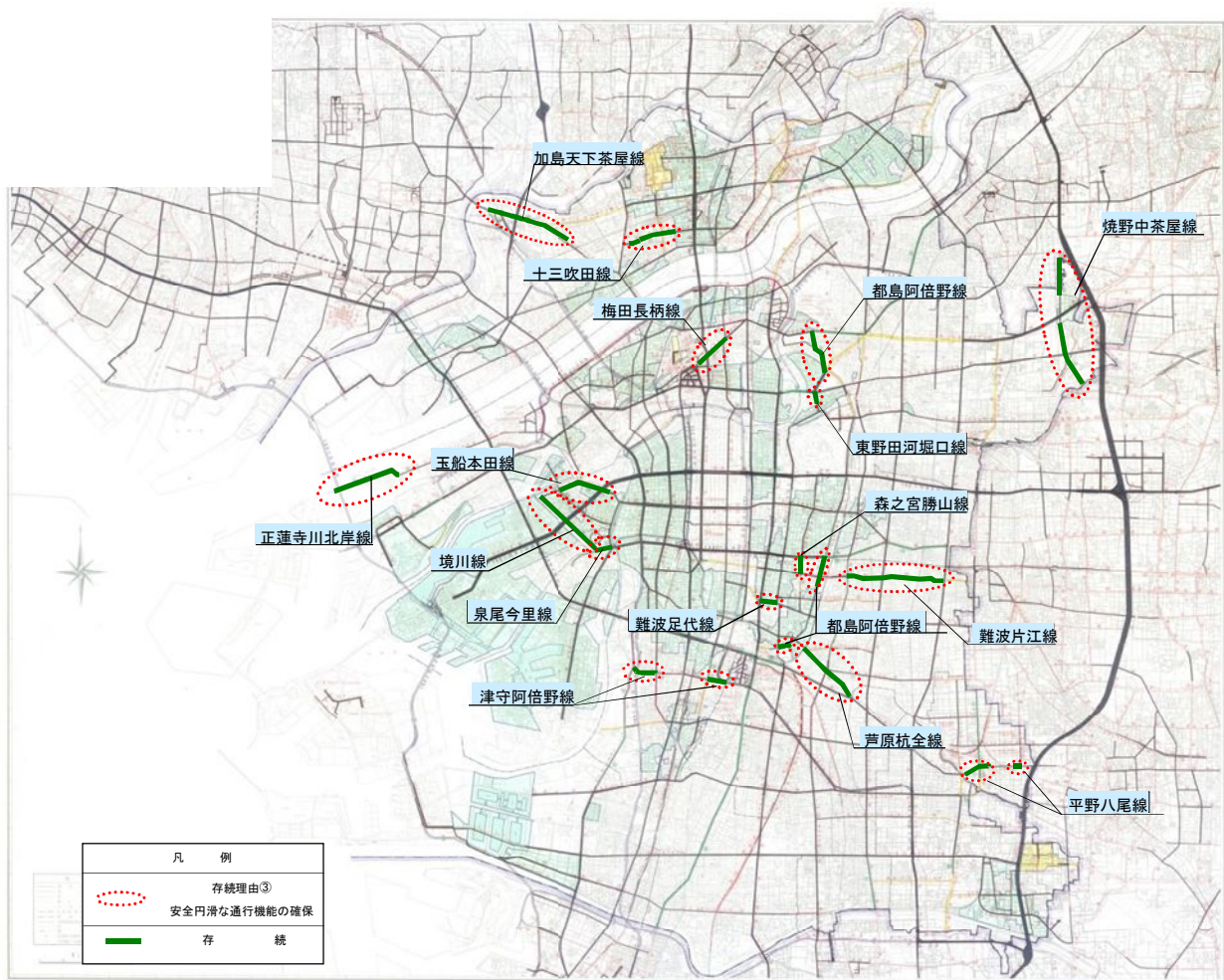


### (3) 「安全・円滑な通行機能の確保」の視点での評価

「安全・円滑な通行機能の確保」の視点から、通行機能確保のために必要な最低限の幅員を、4車線道路で幅員22m以上、2車線道路で幅員15m以上とし、現道幅員がこれに満たない都市計画道路16路線、延長約18kmに限って存続する（これを満たす道路は拡幅を取りやめる）。

なお、これらの未着手路線の事業費は、約1,200億円である。

図-29 「安全・円滑な通行機能の確保」の視点で必要とする路線



安全・円滑な通行機能の確保	対応する未着手路線
現道が概ね22m未満の4車線計画道路	泉尾今里線、加島天下茶屋線、難波片江線、十三吹田線、梅田長柄線、玉船本田線、境川線、芦原杭全線、東野田河堀口線、都島阿倍野線、難波足代線、津守阿倍野線、正蓮寺川北岸線
現道が概ね15m未満の2車線計画道路	森之宮勝山線、焼野中茶屋線、平野八尾線